

新刊案内

2020年5月～2021年4月
刊行書籍



Shinmensha

株式会社 新典社

学会員限定 新刊特別割引販売ご注文について

特別割引販売期間	2021 年 7 月末日まで
割引価格	全品表示価格より 2 割引
送料	発送は日本国内のみ、送料は全国一律で 715 円 (税込)
お支払い方法	書籍発送時に郵便局の払込取扱票を同封いたします。 また、書類に銀行の振込先も記載いたしますので、 ご都合のよろしい方法でお支払い下さい。 振り込み手数料は、ご負担下さい。

ご注文方法

お問い合わせ

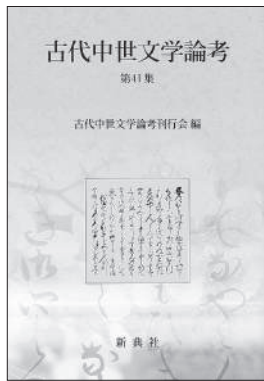
ホームページ：お問い合わせ→学会会員様注文用
メール：info@shintensha.co.jp
FAX：03-3233-8053
郵送：101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-44-11

メール：info@shintensha.co.jp
FAX：03-3233-8053
郵送：101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-44-11

ご注文時の注意点 ※必ずご確認ください

- ・書名・部数・所属学会名、公費・私費の区別をお知らせ下さい。
- ・公費注文の場合、書類の宛名、書類の必要枚数、日付の有無、代表者印の有無、送料の記載方法（書籍代に含めた方がよい）をお知らせ下さい。
- ・送付先（郵便番号・住所・電話・氏名）をお知らせ下さい。
- ・既刊書籍のご注文も特別割引にて承ります。新典社ホームページで書籍情報の確認、図書目録の閲覧・ダウンロードが可能ですので、ご確認の上、お問い合わせ下さい。

新典社 WEB サイト <https://shintensha.co.jp/>

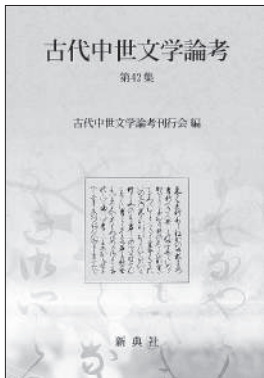


古代中世文学論考 第41集 古代中世文学論考刊行会 編
諸書引用の『先代旧事本紀』 松本弘毅／“歴史叙述”として読む漢文伝 河野友哉／『蜻蛉日記』上巻後半部の始発から歌との別れへ 堤和博／平中の物語と『源氏物語』との相互影響関係 伊勢光／若紫卷「北山のなにがし寺」のモデル案 加藤伸江／杯中の月かげ 坏美奈子／『四条宮主殿集』の寛子と主殿 牛山睦子／『太閤真蹟記』異本系統考 竹内洪介

ISBN978-4-7879-3541-0 A5判上製 280頁 6710円



書籍詳細はこちら

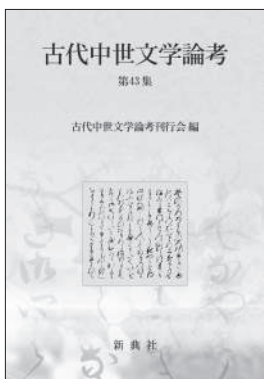


古代中世文学論考 第42集 古代中世文学論考刊行会 編
『先代旧事本紀』における石上神宮の位置 間枝遼太郎／『うつほ物語』忠こそ巻の継母子譚の構造 張可勝／杯中の月かげ 坏美奈子／『擲金抄』所収「讃十斎仏」詩句考 李筱硯／西行『山家心中集』考 穴井潤／惟明親王の『正治初度百首』雑歌考 北原沙友里／日蓮の龍口靈驗譚について 丹治正弘

ISBN978-4-7879-3542-7 A5判上製 280頁 6710円



書籍詳細はこちら

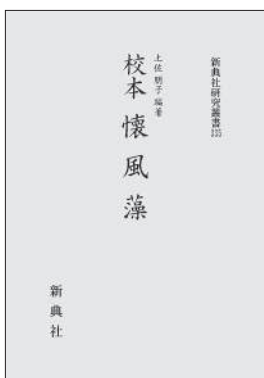


古代中世文学論考 第43集 古代中世文学論考刊行会 編
平安朝文学における乳児の「物語」 小泉咲／若紫卷の北山なにがし寺と高雄山神護寺 川島絹江／『源氏物語』の海辺における四季と鳥の表象 草野勝／玉鬘の「文殿」居住の意義 太田美知子／手習卷・夢浮橋巻の浮舟をめぐる「～はつ」「棄つ」「やむ」 箆尾知佳／『紫式部日記』の言葉 田嶋知子／『堤中納言物語』「貝あはせ」論 陣野英則／『平家物語』の災異説と中世天文道 児島啓祐／當麻曼茶羅縁起成立考 中野顕正

ISBN978-4-7879-3543-4 A5判上製 320頁 7040円



書籍詳細はこちら



校本 懷風藻 土佐朋子 編著
諸本解題 底本・対校本・附 懷風藻諸本の傾向と関係／校本 懷風藻序・懷風藻目録・懷風藻

*天理大学附属天理図書館蔵（榊原忠次旧蔵）懷風藻を底本として、現在参看可能なすべての諸本を対象に校合。底本の忠実な翻刻と字形の再現のほか、諸本の解題をも備えた、古代漢詩文研究必携の書。

新典社研究叢書335 ISBN978-4-7879-4335-4 A5判上製 456頁 15400円



書籍詳細はこちら



伊勢物語 色好みの享受史 瀬尾博之 著

第一部 『伊勢物語』注釈史における主人公像 『伊勢物語愚見抄』から宗祇・三条西家流注釈書へ／『伊勢物語』注釈史における〈憐愍する業平〉の変遷／『伊勢物語集注』について／堂上の『伊勢物語』解釈／『勢語臆断』における業平像／『伊勢物語古意』における業平像／『伊勢物語新釈』の注釈態度／『伊勢物語』注釈史における人物像／第二部 『伊勢物語』と物語的私家集 物語的私家集とは何か／『元良親王集』についての一考察／『一条摂政御集』の物語性／『敦忠集』の物語性／『伊勢物語』の人物像と物語的私家集

新典社研究叢書330 ISBN978-4-7879-4330-9 A5判上製 352頁 11000円



書籍詳細はこちら



蜻蛉日記上巻前半部研究

堤和博 著

第一章 兼家からの求婚場面、「序段」／第二章 「返し、いと古めきたり」考／第三章 兼家の嘘の言い訳を求める道綱母の歌語り享受／第四章 桃の節供の翌日の贈答歌の場面／第五章 道綱母と時姫の二組の贈答歌／第六章 離婚状態になった時の道綱母の歌／第七章 離婚状態を脱した時の贈答歌／第八章 46～48番の贈答歌の場面を中心とした考察／第九章 49～52番の二組の贈答歌の場面を中心とした考察／第十章 「さ夜ふけてかくやしぐれのふりは出づ」兼家に対する道綱母／第十一章 「若き御心（心地）に」考／他
新典社研究叢書332 ISBN978-4-7879-4332-3 A5判上製 432頁 13750円

書籍詳細はこちら



賀茂保憲女 紫式部の先達

天野紀代子 著

Ⅰ 賀茂保憲女とは？ 散文へ はみ出す女流歌人／叔父・慶滋保胤／「まれの細道」／学者の娘の家居の生涯／Ⅱ 『賀茂保憲女集』序文解説 悲しい身の上と執筆／季節めぐりと日本語／恋の種々相、歌の始まり／歌の力、歌集編纂／雑歌の序文／歌と人生にまつわる随筆／「序文」語彙索引
＊仮名書きの長い序文を冠し源氏物語にも影響を与えた賀茂保憲女集。疱瘡流行時、執筆を生きる支えとした女性の先駆的な試みとは。
新典社選書101 ISBN978-4-7879-6851-7 B6判並製 144頁 1210円

書籍詳細はこちら



源氏物語論攷

上野辰義 著

第一章 桐壺更衣のことは 桐壺更衣の歌／桐壺更衣の造形と人間像／「命生く」攷／第二章 夕顔と光源氏と紫式部 夕顔と紫のゆかりの物語／狐の怪異と源氏物語／幻巻の春／紫式部と藤原宣孝／第三章 宇治十帖の基盤 「そのころ」で書き起こされる源氏物語の巻頭について／宇治の大君の道心をめぐって／「山ぶし」と宇治十帖／第四章 源氏物語と美的語彙 讃美の機能／「いまめく」「いまめかし」等の語義について／「なさけ」の語義と性格／「春はあけぼの」と「春のあけぼの」
新典社研究叢書334 ISBN978-4-7879-4334-7 A5判上製 416頁 13200円

書籍詳細はこちら



『源氏物語』庭と邸宅 —— 想定配置図私案 ——

加藤伸江 著

第一編 六条院の庭の想定 明石の御方の町に池はあったか／春の町と秋の町の池の差異／秋の町の滝についての考察／他／第二編 六条院の邸宅の想定 儀式における六条院の入口／六条院の馬場殿の規模／妻戸の間と隅の間の相違／若宮誕生後六日目の移動／他／第三編 周辺地（須磨・宇治）の想定 茅屋は源氏の造営か／宇治八の宮邸の構造についての再考／浮舟巻「橘の小島」の位置／付説 六条院に影響を与えた河原院の池とは／「町」・「間」の読み方の考察
新典社研究叢書329 ISBN978-4-7879-4329-3 A5判上製 352頁 11220円

書籍詳細はこちら



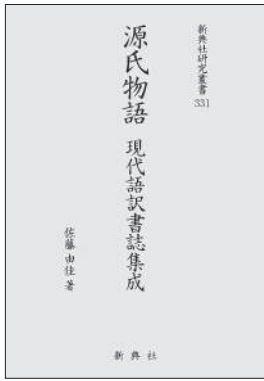
日本古典文学における孝文化 —— 『源氏物語』を中心として ——

趙秀全 著

第一部 古代日中における「孝」の歴史的展開 中国における「孝」と『孝経』の展開／日本における「孝」と『孝経』の展開／第二部 公的空間における文学と「孝」『孝経』に関わる漢詩／「書始」と『孝経』／他／第三部 私的空間における文学と「孝」和歌に詠まれる「孝」／『うつほ物語』の俊蔭巻にみる「孝」／『源氏物語』における「孝」／他／第四部 私的空間における文学と「孝」『松浦宮物語』にみる「忠」と「孝」／『十六夜日記』と為氏の「不孝」／他
新典社研究叢書336 ISBN978-4-7879-4336-1 A5判上製 424頁 13750円

書籍詳細はこちら





源氏物語 現代語訳書誌集成

佐藤由佳 著

第一部 〈完訳〉編 與謝野晶子（与謝野晶子）／吉澤義則／谷崎潤一郎／窪田空穂／佐成謙太郎／他／第二部 〈全訳〉編 窪田空穂／與謝野晶子／沼澤龍雄ほか／五十嵐力／他／第三部 〈抄訳〉編 宮田和一郎／舟橋聖一／規工川佑輔／瀬戸内寂聴／岩佐美代子／第四部 〈意訳〉編 吉井勇／鈴木正彦／河原萬吉・和田萬吉／長柄忠子／他／第五部 〈翻案〉編 古屋信子／川口松太郎／田辺聖子／橋本治／他／第六部 〈その他〉編 時海結衣／佐復秀樹／他

新典社研究叢書331 ISBN978-4-7879-4331-6 A5判上製 328頁 10560円

書籍詳細はこちら



『建礼門院右京大夫集』の発信と影響

日記文学会中世分科会 編

【解説】建礼門院右京大夫とその家集 小林賢太／『建礼門院右京大夫集』と王朝物語の関係について 横溝博／『建礼門院右京大夫集』における七夕歌群 小林賢太／『建礼門院右京大夫集』における「縹の薄様」をめぐる 中村成里／『建礼門院右京大夫集』と物語文学 大倉比呂志／交響する虚構と実情 中村文／『建礼門院右京大夫集』における出自意識 久保貴子／右京大夫系図・平家系図

新典社選書99 ISBN978-4-7879-6849-4 B6判並製 312頁 2530円

書籍詳細はこちら



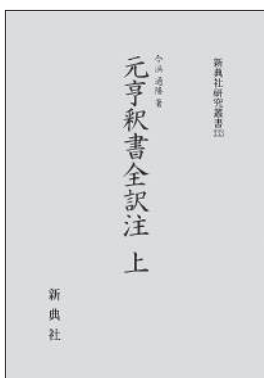
百人一首を読み直す2 — 言語遊戯に注目して —

吉海直人 著

天智天皇「秋の田の」歌（一番）を読み解く／「白妙の」は枕詞か／柿本人丸歌（三番）の「ひとりかも寝ん」の解釈／大伴家持「かささぎの」歌（六番）を待恋として読む／在原業平歌（一七番）の「ちはやぶる」幻想／俊恵法師歌（八五番）の「閨のひま」再考／他
＊広く親しまれている百人一首も、その歌独自の表現に注目して読み直すと、従来説とは異なる解釈の可能性が見えてくる。和歌の読み解きから、藤原定家の選歌意識にも迫る、好評書籍待望の続編。

新典社選書97 ISBN978-4-7879-6847-0 B6判並製 312頁 2915円

書籍詳細はこちら



元亨釈書全訳注 上

今浜通隆 著

解説—『元亨釈書』の世界— 作者について／成立について／内容について／影響・評価・諸本について／訳注 凡例／『元亨釈書』を献上するための上申書／巻第一～巻第十

＊鎌倉時代後期に日本で最初に作られた仏教通史・元亨釈書。五山文学の先駆的存在たる作者・虎関師錬が精魂込めた大作を現代語訳し注をつけた。上巻は巻第十まで収録。後醍醐天皇への上申書つき。

新典社研究叢書333 ISBN978-4-7879-4333-0 A5判上製 760頁 24750円

書籍詳細はこちら



元禄名家句集略注 上嶋鬼貫篇

玉城司・竹下義人・木下優 著

表紙解説—鬼貫の「烏帽子付」／上嶋鬼貫略歴—俳人としての生涯と俳句／注釈／付録（鬼貫周辺の人物・鬼貫句集と伊丹俳書の解題・鬼貫年譜・参考文献）／初句索引／語彙索引

＊元禄俳諧の名家たちを現代語訳・語釈するシリーズ、第五篇は上嶋鬼貫。特徴的な長い前書きも含めてすべて注釈し、周辺人物の解説・鬼貫句集等の解題・鬼貫年譜ほかを収録。初句・語彙索引つき。

ISBN978-4-7879-0647-2 A5判並製 496頁 4950円

書籍詳細はこちら



寺田洋祐 俳画集 蕪村・一茶に遊ぶ

寺田洋祐 画



父 寺田洋祐の俳画 寺田和弘／寺田洋祐 略歴／蕪村（春・夏・秋・冬）／一茶（春・夏・秋・冬）／寺田洋祐氏の俳画 玉城司

＊200年の時を超えて蘇る江戸の洒落、四季の美。人と自然をユーモアあふれる筆致で自在に描いた画家のスケッチブックから100点の俳画を厳選。苦難の中にも明るく楽しく豊かな人生を生きるヒントを。

ISBN978-4-7879-7927-8 A5判並製 112頁 2530円

書籍詳細はこちら



鳳朗と一茶、その時代 —— 近世後期俳諧と地域文化 ——

金田房子・玉城司 編



＊俳諧が日常とともにあった近世後期の豊かな地域文化に注目した、10名の研究者による論集。旅の俳諧師・鳳朗と一茶を軸に、新資料に基づき、都市と地方に生きる人々の活発な文化交流に光をあてる。（執筆者：金田房子・玉城司・大西紀夫・金子俊之・金子はな・紅林健志・時田紗緒里・松井忍・山崎和真・和田健一）

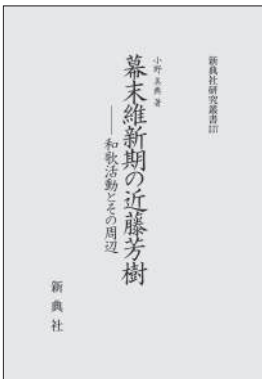
新典社選書100 ISBN978-4-7879-6850-0 B6判並製 376頁 3080円

書籍詳細はこちら



幕末維新期の近藤芳樹 —— 和歌活動とその周辺

小野美典 著



第一部 近藤芳樹の編集した類題和歌集の考察／第二部 近藤芳樹の作品の考察／第三部 近藤芳樹が編集・出版・成立に関与した作品の考察／第四部 資料編—資料紹介と翻刻

＊激動の長州藩を生き、維新後は、宮内省に出仕した歌人・国学者である近藤芳樹。多くの歌文集の編集・出版にも関与したその事績を追う論考のほか、禁門の変関係者の歌集など資料翻刻も多数掲載。

新典社研究叢書337 ISBN978-4-7879-4337-8 A5判上製 584頁 18700円

書籍詳細はこちら



もっと知りたい 池田亀鑑と「源氏物語」 第4集

伊藤鉄也 編



復刻 『随筆集 花を折る』後篇／講演 第三回池田亀鑑賞受賞作の紹介と選考理由／『狭衣物語』との出会い／第三回池田亀鑑賞授賞式と記念講演会／馬賊とは何？／連載 池田亀鑑の研究史／コラム 随筆集「花を折る」に纏わる二、三の思い出／資料 復刻・池田亀鑑著作選／流行作家・池田芙蓉・青山櫻州の時代／闇野冥火の少女小説／アルバム・池田亀鑑

ISBN978-4-7879-6054-2 A5判並製 372頁 3190円

書籍詳細はこちら



二・二六事件の思想課題 —— 三島事件への道程

野村幸一郎 著



第一章 青年将校たちの多様性／第二章 民族主義と『共産党宣言』／第三章 久野収と橋川文三の視点／第四章 アジア主義との関わり／第五章 内政への傾斜／第六章 違犯とエロティシズム／第七章 疎外されるエクスタティコン／第八章 幽顕一貫のゆくえ

＊二・二六事件の青年将校たちの証言と、彼らに影響を与えたとされる北一輝の思想を比較検証。二・二六を視野に三島由紀夫をもたどる。

新典社新書82 ISBN978-4-7879-6182-2 新書判並製 160頁 1100円

書籍詳細はこちら





戦場を発見した作家たち —— 石川達三から林芙美子へ

蒲豊彦 著

第一部 戦場の捉え方 日中開戦初期の戦地報告／提灯行列と石川達三／火野葦平の新たな戦場／レマルク、バルビュス、丘東平／
第二部 漢口攻略と総力戦 保衛大武漢と宣伝戦／漢口を目指す日本人／従軍画家／作られた「漢口一番乗り」／林芙美子の戦場

＊戦前の日本で人々はどう戦争に巻き込まれ、また主体的に関わったか。石川達三、火野葦平、林芙美子の戦争文学を中心に考察する。

新典社選書98 ISBN978-4-7879-6848-7 B6判並製 320頁 2585円

書籍詳細はこちら



向田邦子の末尾文トランプ

半沢幹一 著

小説編 かろうそ／だらだら坂／はめ殺し窓／三枚肉／マンハッタン／
犬小屋／男眉／大根の月／りんごの皮／酸っぱい家族／耳／他

エッセイ編 父の詫び状／身体髪膚／隣りの神様／記念写真／他

＊向田邦子の短編小説と『父の詫び状』所収エッセイから末尾文を引用し、しめくくりの意図を解説。読者に「カタルシス」を感じさせると評価の高い、向田邦子の末尾文がこの一冊で凝縮して味わえる。

新典社新書80 ISBN978-4-7879-6180-8 新書判並製 160頁 1100円

書籍詳細はこちら



藤沢周平 とどめの一文

半沢幹一 著

暗い縄／闇の梯子／父と呼べ／旅の誘い／霜の朝／時雨のあと／穴熊／
石を抱く／拐し／閉ざされた口／三年目／春の雪／裏切り／暗い渦／歳
月／運の尽き／時雨みち／幼い声／おとくの神／夜消える／冬の日／他

＊藤沢周平の時代小説より「一文一段落」でしめくくられる73作品を紹介。主に登場人物を描写し、鮮やかな幕切れを演出する末尾の一文から、藤沢作品とそこに描かれたひとびとの魅力を解説する。

新典社新書81 ISBN978-4-7879-6181-5 新書判並製 160頁 1100円

書籍詳細はこちら



世界観光事情 まち歩きを楽しむ

秋山秀一 著

上海／キャメロン・ハイランド／ヒヴァ／サンクトペテルブルク／
カイロ／モロッコ王国／ビクトリアの滝／ケベック・シティ／グラ
ンド・キャニオン／ニューカレドニア／イスタンブール／他

＊200回以上の海外旅行経験を持つ旅の達人が、世界中から厳選した35都市の魅力をご紹介。絶景や街の歴史、名物グルメ、おすすめルートなど、豊富な写真をながめながら世界一周が追体験できる1冊。

ISBN978-4-7879-7865-3 A5判並製 208頁 2145円

書籍詳細はこちら



注文書籍情報記入欄

書籍名

冊

書籍名

冊

書籍名

冊

書籍名

冊

書籍名

冊

書籍名

冊

注文者情報記入欄

私費・公費

書類の宛名【公費】

請求書

枚

見積書

枚

納品書

枚

日付の有無

有・無

代表者印の有無

有・無

送料の記載方法

書籍代に含む・書籍代に含めない

所属学会名

送付先郵便番号

送付先住所

送付先電話番号

送付先受取人名

備考